

## 天草景観形成地域の色彩ガイドライン

### 2-4-1 天草景観形成地域の範囲

天草景観形成地域は、下図に示した天草諸島北部の有明海沿岸地域です。

地域は、景観特性や将来の景観の変化の可能性を勘案して、さらに3つのゾーンにわけられます。

- 1—大矢野島周辺景観形成ゾーン
- 2—沿道景観形成ゾーン
- 3—本渡・五和景観形成ゾーン



写真 海洋性リゾート施設—上天草市

### 2-4-2 景観づくりの基本的考え方

天草景観形成地域は、青く美しい海に接し、緑豊かで変化に富んだ海岸景観を有しています。また、これらの豊かな自然を背景とした情緒豊かな農漁村や漁港等が点在し、あわせて多くの歴史的・文化的資源も残されています。

近年においては、こうした豊かな海と海岸線をいかしたリゾート開発の可能性が高まっています。天草景観形成地域においては、地域の自然や歴史的・文化的資源をいかした豊かで活力ある海洋リゾート地らしい景観の形成を図るため、次の基本的考え方に沿った景観形成を進めます。

- 1—豊かな海や海岸線をいかした景観形成
- 2—緑と地形をいかした景観の形成
- 3—農漁村景観や歴史性をいかした景観の形成
- 4—道路や海上からの眺望に配慮した景観の形成

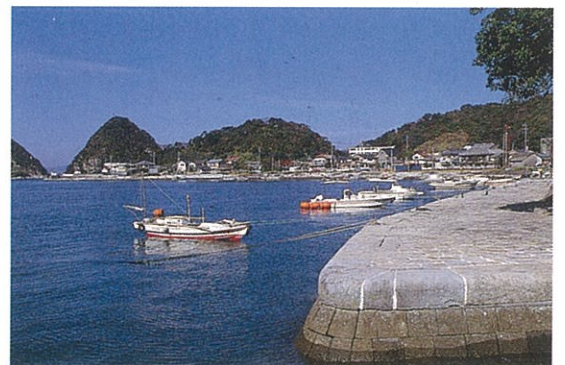


写真 宇城市西港の穏やかな海

#### ● 区域

宇城市三角町	三角浦の一部	天草市	今釜町の一部
"	波多 "	"	今釜新町 "
"	戸馳 の全部	"	小松原町 "
上天草市大矢野町	登立の全部	"	浜崎町 "
"	上 "	"	本渡町本戸馬場の一部
"	中 の一部	"	本渡町広瀬の一部
"	湯島の全部	"	本町下河内の全部
"	維和の一部	"	本町新休の一部
"	松島町 台津の一部	"	北浜町の全部
"	阿村 "	"	旭町 "
"	今泉 "	"	佐伊津町 "
天草市有明町	楠甫の一部	"	五和町御領の一部
"	大浦 "	"	鬼池 "
"	須子 "	"	上野原 "
"	赤崎 "	"	城木場 "
"	上津浦 "	"	井手 "
"	下津浦 "	"	下内野 "
"	小島子 "	"	荒河内 "
"	大島子 "	"	
志柿町の一部			
瀬戸町 "			
亀場町亀川 "			
東町 "			
太田町 "			
南新町 "			
栄町 "			
港町 "			
東浜町 "			

本渡・五和景観形成ゾーン

大矢野島周辺景観形成ゾーン

沿道景観形成ゾーン(A-1)

沿道景観形成ゾーン(A-2)

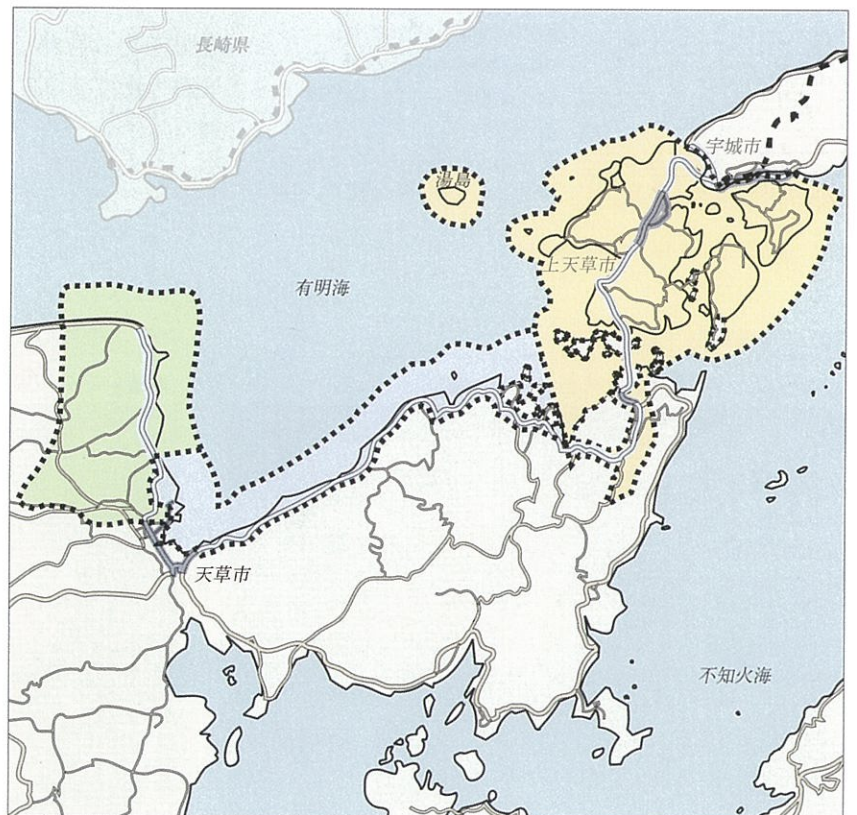


図 天草景観形成地域の範囲とゾーン区分



## 2-4-3 天草景観形成地域の景観形成基準

■表 天草景観形成地域の景観形成基準(建築物等の色彩に関するもの)

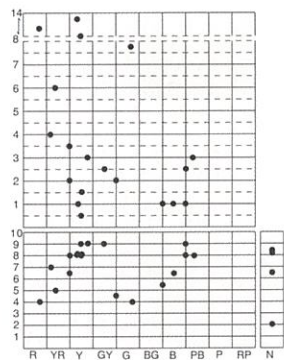
建築物 等	外観 色彩	大矢野島周辺 景観形成ゾーン	本渡・五和 景観形成ゾーン	沿道景観形成ゾーン A-1	沿道景観形成ゾーン A-2
		外壁及び屋根の色彩は、周辺の集落、町なみ等の建築物や周辺と調和した落ちついたものを用いるものとする。また同一敷地内における建築物は、色調を統一するとともに、多色の使用は避けるものとする。	観光、宿泊施設の屋根、外壁の色彩は、自然や地域の背景との調和に配慮するものとする。一団の別荘については、色彩の統一性に配慮するものとする。	一般住宅の外壁、屋根の色彩は、できるだけ明度、彩度とも低いものを用いるとする。	

※沿道景観形成ゾーンA-1:国道266号、324号の内、自然景観地沿線  
沿道景観形成ゾーンA-2:国道266号、324号の内、商業集積地

## 2-4-4 天草景観形成地域の色彩景観の現況

### さまざまな色彩の中・小規模施設

天草景観形成地域には、物販店や飲食店等をはじめとした中・小規模の施設が多く見られます。これらの基調色は建築物の色彩としては鮮やかすぎる色彩のものが多く見られます。鮮やかな色彩は人目を引きやすい反面、海への開放感を奪ったり、標識やサインなどの所在を見にくくするなどの難点もあります。また、日差しの強い天草地域では、色褪せるのが早く、短いサイクルでの塗装や改修が必要になります。



色相、トーンともに幅広い範囲に分散しています。中には鮮やかな赤や黄、緑などを基調にしている建物もみられ、目立つことだけを意識した建物が少なくないことをうかがわせます。

## 2-4-5 天草景観形成地域の色彩ガイドライン

### 明るい海洋性リゾートを目指そう

天草景観形成地域では、天草の海と対比が少ない、明るく開放感のある色彩を基調とし、これらの建物が連なることによって、明るい海辺のリゾートにふさわしい色彩景観をつくっていくことを目標とします。

### わかりやすく安全な市街地景観をつくろう

市街地に建つ建物や広告物などは、標識やサインなどの色彩以上に鮮やかな色彩を用いないようにし、わかりやすく安全性の高いまちなみづくりを目指します。

### 漁村では地域に受け継がれてきた色彩を大切にしよう

天草景観形成地域内には、多くの漁村集落が点在しています。これらの集落では、古くから用いられてきた木材やしっくい等の建材をいかし、天草の伝統的な集落景観を保全していくことを目指します。

■図 現状における外壁基調色の分布

■表 外壁基調色の色彩ガイドライン

ゾーン	避けた方がよいトーン(●)
大矢野島周辺 景観形成ゾーン 本渡・五和 景観形成ゾーン 沿道景観形成 ゾーンA-1	明清色、暗清色 鮮明色
沿道景観形成 ゾーンA-2	鮮明色

■表 外壁基調色の推薦トーン

推薦トーン(○)
白、明灰色 明穏色

※1—表面に着色を施していない木材や土壁、金属板、スレート、ガラスなどの素材色は、この色彩ガイドラインの適用を除外します。  
※2—各トーンの色相の範囲は、19ページの一覧表を参照して下さい。



## 2-4-6 天草景観形成地域にふさわしい色彩(大矢野島周辺景観形成ゾーン、本渡・五和景観形成ゾーン、沿道景観形成ゾーンA-1)

### 海洋性リゾートの明るいイメージを大切に

大矢野島周辺景観形成ゾーンや本渡・五和景観形成ゾーン、沿道景観形成ゾーンA-1では、開放感のある海洋性リゾートにふさわしい明るい色彩を基本とします。

また、穏やかな自然の色彩を脅かすことのないように派手な色彩の使用は避けます。

海辺の建物は、白、明灰色、明穏色などを中心に色彩選択にあたりと良いでしょう。

一方で、入り組んだ海岸線と急峻な地形を有するこのゾーンには、深い緑におおわれた環境も少なくありません。

このような地区では全体に明度を下げ、周辺との対比をやわらげるように配慮してください。

### ■大矢野島周辺景観形成ゾーン、本渡・五和景観形成ゾーン、沿道景観形成ゾーンA-1の推薦配色

全体的に明るく軽快感のある明穏色が基調になっています。特に高層の建物はよく目立ちますので、閉塞感のある暗い色彩や鮮やかな色彩を基調にしないようにしましょう。規模が大きくなると彩度1程度の色彩でもかなりの色味を感じるものです。

(5Y3/1)				N-30(N3.0)
19-85B(10YR8.5/1)				N-95(N9.5)
(2.5R7/1)	25-85A(5Y8.5/0.5)	19-80B(10YR8/1)	25-80B(2.5Y8/1)	22-40D(2.5Y4/2)
天草ビジターセンター	宿泊施設(上天草市)	宿泊施設(上天草市)		

### ■大矢野島周辺景観形成ゾーン、本渡・五和景観形成ゾーン、沿道景観形成ゾーンA-1の推薦色

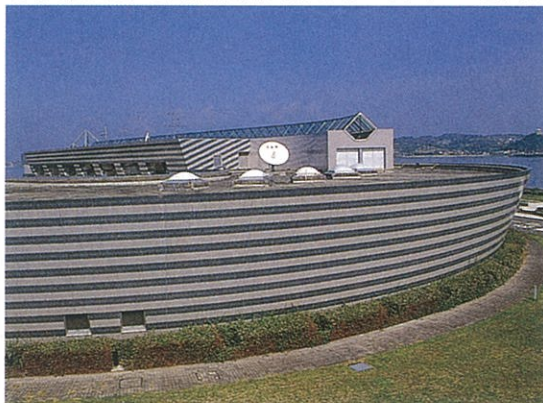
●白	N-95(N9.5)	N-90(N9.0)	●明灰色	N-85(N8.5)	N-80(N8.0)	
●明穏色	15-85B(5YR8.5/1)	19-90A(10YR9/0.5)	19-80C(10YR8/1.5)	22-90B(2.5Y9/1)	(5BG8/0.5)	(5PB8/0.5)

### ■写真 大矢野島周辺景観形成ゾーン、本渡・五和景観形成ゾーン、沿道景観形成ゾーンA-1にふさわしい色彩の建物

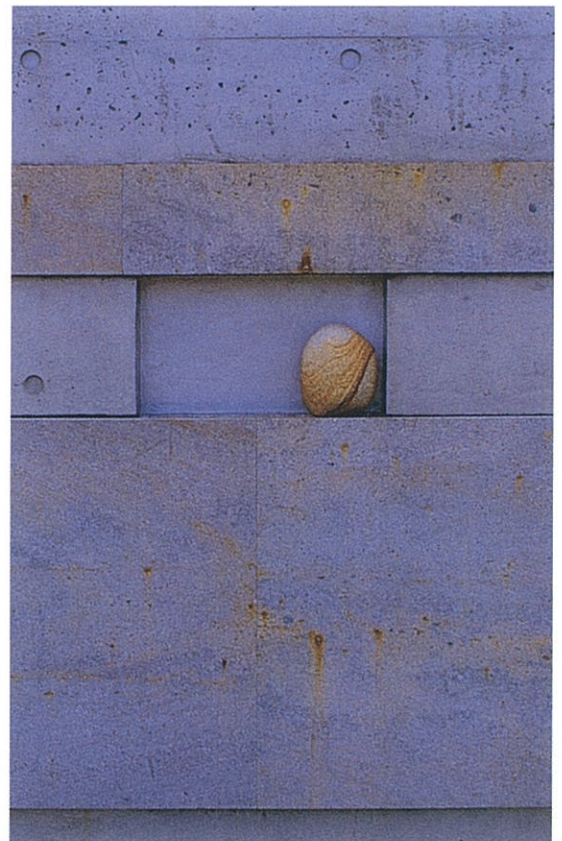
●左上・右一地域で産出される合津石を外壁材として、あるいはアクセントとして要所に用いています。  
地域の自然が生み出した地場産の建材は、その地域の景観とも調和しやすいものです。  
●左下—クールグレーとベージュのタイルで外壁を構成しています。いずれも鮮やかさを抑えたおとなしい色彩ですが、水平線を強調したデザインが海辺らしい壮快感をダイナミックに表現しています。



地域で産出される合津石を用いたビジターセンター—上天草市



建物の形態とあわせたダイナミックな配色—上天草市



ビジターセンターにアクセントとして用いられた合津石—上天草市



## 2-4-7 天草景観形成地域にふさわしい色彩(沿道景観形成ゾーンA-2)

沿道の建物の明るい色彩で連続性をもたせよう

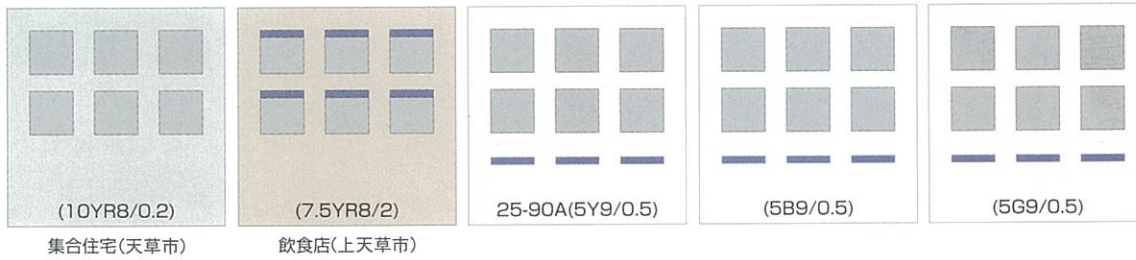
沿道景観形成ゾーンA-2では、天草の明るい空にふさわしい、白や明灰色、明穏色を基調とした建物で色彩の帯をつくり、さわやかな海辺の街道を演出します。

こうした連続性を妨げる規模の大きい広告物や簡易広告物の掲出は極力避け、街道を通る車か

ら明るいまちなみが見えるようにします。

特に、現況において派手な色彩が多く見られる小規模の飲食店やみやげ物店などは、地域の景観をつくる一員という自覚のもとに、目立つことばかりを目的にした色使いを避けるようにしましょう。

### ■沿道景観形成ゾーン(A-2)の推薦配色



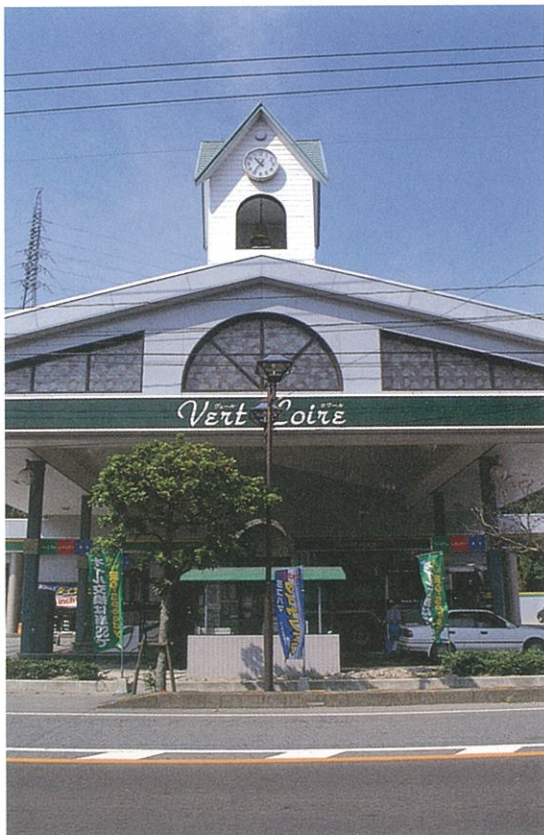
同じ沿道沿いの建物は全体に明るいトーンで基調色をそろえます。

また、沿道の建物がアクセントカラーを統一し、海辺のまちらしいイメージづくりを積極的に行っていくことなども考えられます。

### ■沿道景観形成ゾーン(A-2)の推薦色



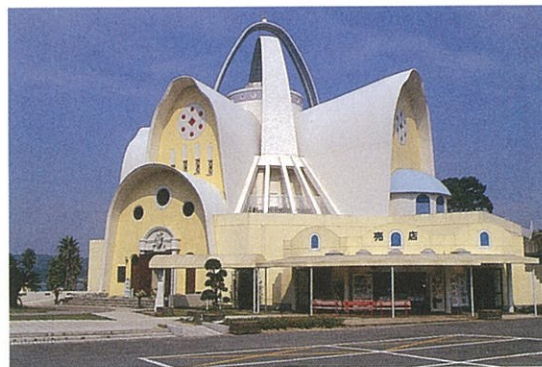
### ■写真 沿道景観形成ゾーン(A-2)にふさわしい色彩の建物



アクセントカラーをG(緑)系色相で統一したガソリンスタンドー上天草市



明穏色の建物が続くまちなみー上天草市



明るいトーンで構成された天草四郎メモリアルホールー上天草市

- 左—アクセントカラーに統一感をもたせ、すっきりとした外観にまとめています。
- 右上一明穏色の建物が続き、広告物を最小限に抑えた風景には海辺の街らしい開放感があります。
- 右下一ランドマーク性の高い建物の周辺では、トーンをそろえるなど、ランドマークのイメージを損なわないような配慮が求められます。



天草景観形成地域では、天草の美しい海がもっとも色鮮やかに見えるような景観づくりを目指します。

このような景観づくりの上で、丘陵地から海への視界に必ず入ってくる屋根の色彩は非常に重要な位置を占めます。一般的には無彩色とし、複数の建物を一体的に整備する場合には鮮やかさを抑えた焦げ茶色などに統一することも考えられます。

また、広告物や自動販売機などが海への視界を妨げないように留意し、色彩も目立たないような工夫をすることが大切です。



天草景観形成地域の景観と対比的な例



海を引き立たせるために屋根色の彩度を下げた例



天草景観形成地域の景観と対比的な例



海への視界を遮る広告物を撤去し、屋根色の彩度を下げた例

コラム

建物の意匠と結びつけた地域固有の色彩

三角港西港地区の洋館

天草景観形成地域は、大矢野島や上島、下島をはじめとして天草諸島の広い地域にわたる広域型の景観形成地域です。地域内には都市から観光地、漁村に至るまでの幅広い景観がみられますが、この中でも色彩が織りなす特徴的な景観として、宇城市の西港地区が挙げられます。

西港地区では、三角港の開港時に建てられた古い洋館が、当時の色使いそのままに保存・復元されています。

これらの洋館は、白壁に暗灰色の屋根瓦という日本建築に

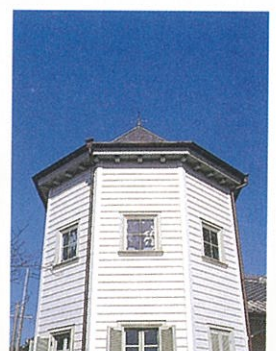
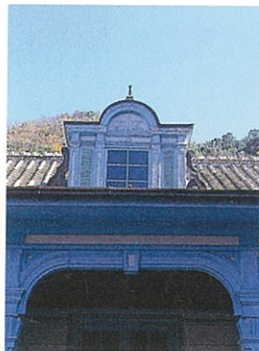
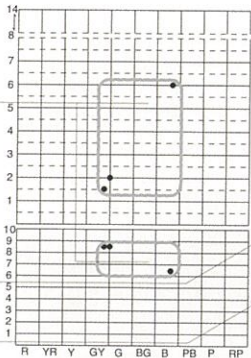
よくみられる組み合わせに、パステル調のアクセント色を加えた、和洋折衷ともいえる配色で成り立っています。こうした色使いは、繊細な細部の意匠があってこそ成り立つもので、建物の形態や素材とあわせて、保存・継承していくべき色彩といえます。

この地区のように、特徴的な建物がまともに残されている地区では、「景観形成重点地区」などとして、色彩ばかりでなく、形態や素材、細部の意匠にまで踏み込んだガイドラインを設け、積極的かつ個性的な景観づくりを進めていくことも考えられます。

柱や建具の繊細な意匠に施された水色やライトグリーンのアクセント色

白い外壁基調色

暗灰色の屋根色





## 人吉市景観形成地域の色彩ガイドライン

### 2-5-1 人吉市景観形成地域の範囲

人吉市景観形成地域は、下図に示した球磨川を中心とした人吉市中心部の地域です。地域は、景観特性などから、さらに3つのゾーンに分けられます。

- 1—商店街ゾーン
- 2—球磨川河畔ゾーン
- 3—人吉城跡・永国寺ゾーン

### 2-5-2 景観づくりの基本的考え方

人吉市景観形成地域は、球磨川や緑の丘陵地等身近で豊かな水と緑に恵まれています。また、相良家700年の歴史に培われた人吉城や

その城下町のたたずまいは人吉市を代表する景観として、地域の人々に愛され、同時に観光地としても広く知られています。

さらに近年においては九州縦貫自動車道の開通などにより、県南部を代表する観光都市としての更なる発展が期待されています。

人吉市景観形成地域においては、球磨川や丘陵の緑地などの自然を背景に城下町として発展してきた歴史及び文化環境を守りながら、県南の代表都市として、「物語都市ひとよし」にふさわしい新しい都市イメージが醸成されるよう、次の基本的考え方に沿った景観形成を進めます。

- 1—人吉の伝統・文化の息づく街と集落それぞれの生活風景を大切に景観づくり
- 2—人吉の風土に培われた水と緑をいかした自然に彩られたふるさとを感じさせる景観づくり
- 3—人吉を訪れた人々を心地良く、分かりやすく迎える景観づくり



写真 人吉城跡から見た人吉市街



写真 人吉城多門櫓

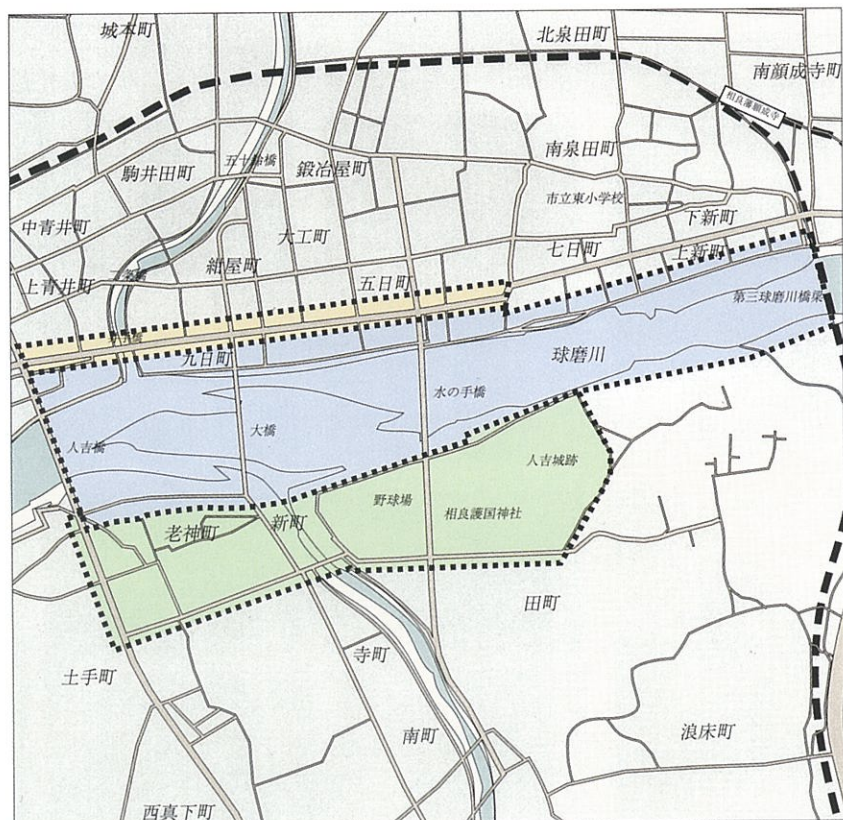


図 人吉市景観形成地域の範囲とゾーン区分

#### ● 区域

##### 商店街ゾーン

国道445号の区間のうち、県道人吉駅停車場線との交点から市道球磨川沿岸第1号線との交点までの区間の道路の路端から両側20m以内の区域

##### 球磨川河畔ゾーン

球磨川流域のうち、人吉橋から球磨川第3橋梁までの区間の河川の境界から両側20m以内の区域並びに上青井町、九日町及び五日町の各一部

##### 人吉城跡・永国寺ゾーン

土手町、灰久保町、西間下町、老神町、新町、麓町及び寺町の各一部

##### 商店街ゾーン

##### 球磨川河畔ゾーン

##### 人吉城跡・永国寺ゾーン



## 2-5-3 人吉市景観形成地域の景観形成基準

■表 人吉市景観形成地域の景観形成基準(建築物等の色彩に関するもの)

	商店街ゾーン	球磨川河畔ゾーン	人吉城跡・永国寺ゾーン
建築物 外観 色彩	外壁及び屋根は、けばけばしいものは避け、周辺の景観と調和したものをを用いるものとする。	外壁及び屋根は、隣接した建築物や周辺の景観と調和した落ちついたもので、明度及び彩度ともにできる限り低いものをを用いるものとする。	外壁は、白もしくは灰色又は茶系統の落ちついたものをを用いるものとする。

## 2-5-4 人吉市景観形成地域の色彩景観の現況

### 中高層部にアクセントのある色彩景観

商店街ゾーンの建物は袖看板や屋上広告を設置するなど中・高層部にアクセントをおいた配色になっています。

一方、歩行者の目にとまりやすい、低層部には派手な色彩ののぼりや自動販売機などが無秩序に並び、季節感や商店街としてのオリジナリティを感じさせる要素に乏しいのが実状です。



■写真 建物の中高層部に設置された広告物

### 色彩に共通性のない中高層建築物

人吉城跡・永国寺ゾーンの中高層の建築物は明るい白や鮮やかなレンガ色など、背景となる山並みと対比的な色彩のものが多く、隣り合う建物の色彩に共通性が感じられません。

### 鮮やかな屋根を多用した低層建築物

永国寺ゾーンには住宅をはじめ、多くの低層建築物が軒を連ねています。これらの外壁には、まちなみとしての共通性が感じられますが、屋根の色彩はまちまちで、建築物の色としての色彩調和が感じられません。

## 2-5-5 人吉市景観形成地域の色彩景観づくりの目標

### 遠景と中・近景を使い分けた色彩選択

遠景からよく見える規模の大きい建築物は、背景の山並みと対比の少ない灰色や彩度を抑えた茶色などを基調とし、周囲をとりまく自然との調和を図ります。

また、低層の建築物は近景・中景を意識し、隣り合う建物と色相やトーンをあわせたり、材質感の豊かな建材を用いるなど、色彩に対する配慮を感じさせながら、退屈さのない色彩デザインを行います。

全体としては、遠くから見たときに落ちつきを、近くに寄ったときに飽きのこないきめの細かさを感じさせる色彩景観を目指します。

■表 外壁基調色の色彩ガイドライン

ゾーン	避けた方がよいトーン(●)
商店街ゾーン	鮮明色
球磨川河畔ゾーン 人吉城跡・永国寺ゾーン	明清色、暗清色 鮮明色

■表 外壁基調色の色彩ガイドライン

推薦トーン(○)
明灰色、中灰色 明穏色、中穏色

※1—表面に着色を施していない木材や土壁、金属板、スレート、ガラスなどの素材色は、この色彩ガイドラインの適用を除外します。  
※2—各トーンの色相の範囲は、19ページの一覧表を参照してください。



## 2-5-6 人吉市景観形成地域にふさわしい色彩(商店街ゾーン)

### アーケードの上には落ちついた明穏色・中穏色

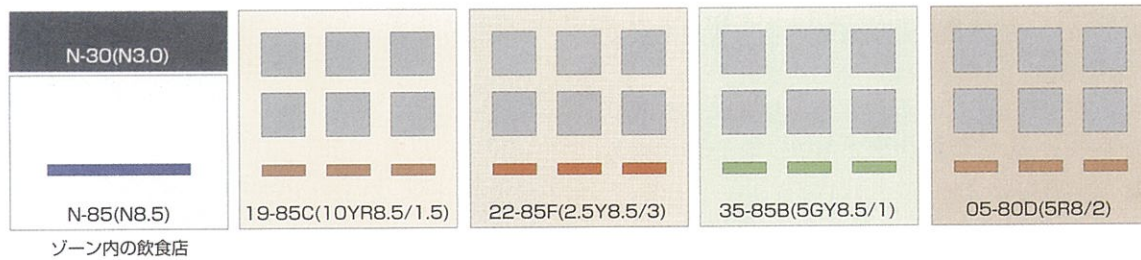
徒歩による近隣消費が中心となる商店街ゾーンでは、遠くからよく目立つような鮮やかな色彩は必要ありません。

従っておおむねアーケードから上の部分の色彩は明穏色や中穏色などに抑え、落ちつきのある日常的な風景をつくりましょう。

### アーケードの下にはにぎわいを演出する色彩

通りを通る人の目によくふれる低層部、おおむねアーケードから下の空間は、商店街の活気やにぎわいが伝わるよう、商店主が話し合うなどして定めた商店街としてのオリジナリティを感じさせる色彩を効果的に用いるようにしましょう。

#### ■商店街ゾーンの推薦配色



建物、特に中・高層部の基調色は明るく穏やかなトーンでそろえ、ショーウィンドウなどにアクセントとなる色彩を配します。ただし、のぼりや捨て看板など煩雑なイメージを与える簡易広告物は設置しないようにします。

#### ■商店街ゾーンの推薦色



#### ■写真 商店街ゾーンの現状



通り沿いの低層部にアクセントをもたせた例



中高層部に設けられた屋上広告や袖看板などのアクセント色

●左一通りに面した低層部はさまざまな色彩のタイルでにぎわいを演出し、通りに面していない妻側は無彩色の鎮静的な色使いでまとめています。  
●右一商店街ゾーンの現状の色彩景観はどちらかというと中高層部にアクセントをもたせた配色になっています。派手な袖看板などは避け、低層部ににぎわいをもたせるようにしましょう。

#### ■写真 景観色彩シミュレーション



商店街ゾーンの景観と対比的な例



外壁色のトーンをそろえ、アーケード側面の彩度を下げた例

アーケードから上の色彩はトーンをそろえるなどして調和感のあるまちなみをつくります。  
また、アーケード自体の色彩は彩度を抑え、商店街による季節感の演出など、さまざまな色彩要素の変化に対応できるようにします。



## 2-5-7 人吉市景観形成地域にふさわしい色彩(球磨川河畔ゾーン、人吉城跡・永国寺ゾーン)

球磨川河畔の大規模建築物は明穏色や中穏色で落ちつきを

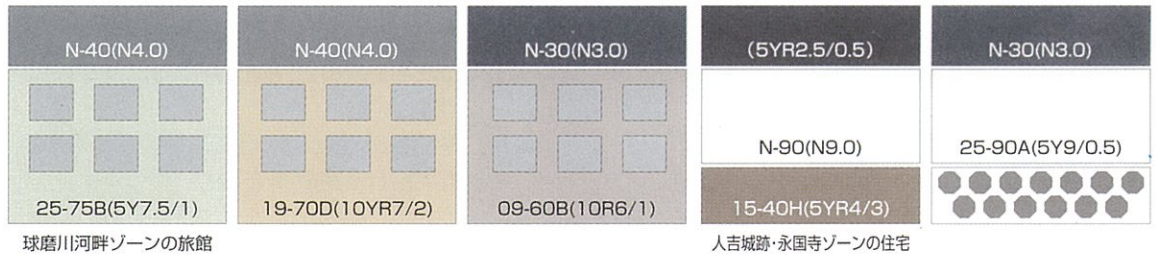
人吉城跡から球磨川越しに見える河畔の旅館など、規模の大きい建築物は、明るさを抑えた色彩を基調とし、背景の山並みに調和する穏やかな色彩景観をつくりましょう。

中小規模の建築物には暗めの屋根を組み合わせよう

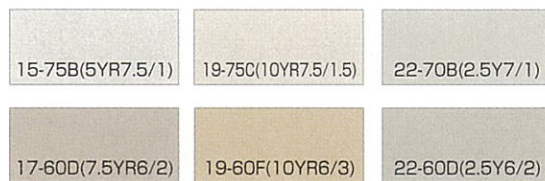
人吉の市街地を形成する中小規模の建築物は、現状多く用いられている白や明穏色などの外壁を踏襲しながら、暗灰色や暗穏色など、鮮やかさを抑えた機能的な色彩の屋根を組み合わせ、落ちつきのある市街地景観をつくりましょう。

### ■球磨川河畔ゾーン、人吉城跡・永国寺ゾーンの推薦配色

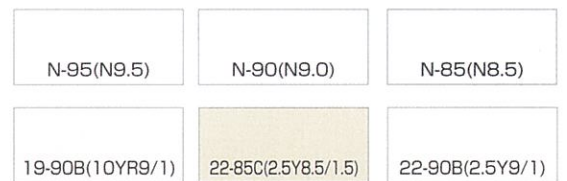
規模の大きい球磨川河畔の旅館などは、鮮やかさを抑えた灰色や茶色を基調とし、暗灰色などの勾配屋根をつけます。一般の住宅や商店などは、白や明るいベージュなどを基調とし、腰壁をつけるなど、細かな意匠に配慮します。



### ■大規模建築物の推薦色

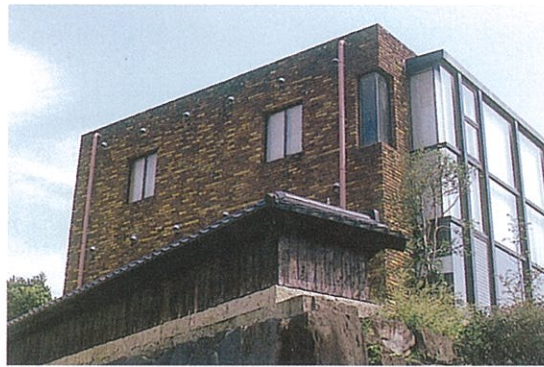


### ■中小規模の建築物の推薦色



### ■写真 球磨川河畔ゾーン、人吉城跡・永国寺ゾーンにふさわしい色彩の建物

- 左一低層の建物は周辺の建物や自然物と色彩の共通性をもたせ、近くによっても単調さを感じさせないきめの細かい色彩選択を行います。
- 右一極端に明るい色彩や鮮やかな色彩を避け、勾配屋根をとりつけるなどによって周辺から突出することを避けています。



質感豊かな外装材を使用した例



基調色の彩度を抑え、傾斜屋根をつけるなどの工夫がみられる例

### ■写真 景観色彩シミュレーション

着色技術の向上によって、屋根の色彩にもさまざまな選択肢が得られるようになりましたが、近年では、古くから利用されてきた灰色や黒、焦げ茶色などが再評価され、出荷量に占める割合が多くなってきています。多くの人が認める落ちついた色彩の屋根景観は、私たちが見慣れた安定感のある配色の基本といえます。



球磨川河畔ゾーン、人吉城跡・永国寺ゾーンの景観と対比的な例



屋根色を暗灰色でそろえた例